

収量アップ!! 1等米比率95% 穂肥～水管理

◎稲作だよりNo.5ポイント

- ・中干しは出穂1ヶ月前には終了し、飽水管理に移りましょう。
- ・生育に応じた穂肥を実施、計画しましょう。

## 1 現在の生育状況

◎田植え日・ほ場条件によって差はありますが、全体的に茎数、葉色は指標値以上であり生育が進んでいます。

【こしいぶき】

草丈、茎数ともに指標値を超え生育は過剰傾向にあります。

【コシヒカリ】（6月10日現在）

調査地点（田植日）	本年平均値	岡野町(5/13)	野田(5/13)	水上(5/22)
草丈 (cm)	31.9	35	33	27
茎数 (本/m <sup>2</sup> )	187	228	232	102
茎数 (本/株)	12.3 50株計算	15.0 50株セット	12.8 60株セット	6.7 50株セット
葉齢	6.2	7.0	5.5	6.1
葉色 (SPAD)	33.8	34.5	34.9	31.9

日照時間が多くなるため、稲の生育の進み具合に注意しましょう！



## 2 今後の水管理

☆本年は水が少ない為、溝をしっかりと残し水の有効利用対策に勤めましょう。

- ・出穂1か月前までに中干しを終了し、地耐力を維持しながら飽水管理を行いましょう。

**飽水管理とは**

状態：田面の足跡や溝に水が溜まっている状態を保つ水管理のこと。（土を乾かさない）

やり方：田面の高い部分に水が被る位に水を入れ、自然に減水したら表面が白く乾かないうちに再び入水。

期間：出穂30日後頃まで続けましょう。

- ・フェーン現象のように気温が急激に上昇する場合には、一時的に湛水し、急激な蒸散による障害を防ぎましょう。



（飽水管理のイメージ）

## 3 適切な穂肥の実施 ～穂肥時期と量の目安～

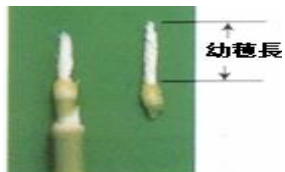
品 種	田植基準日	出穂期平年値	1回目穂肥 (出穂前日数)	2回目穂肥 (出穂前日数)	使用肥料(例)	肥料ごとの10a 当たり穂肥施用量
新潟次郎	5月3日	7月18日	6月23日 (25日前)	7月4日 (14日前)	硫安	1回目：14kg、2回目14kg
					尿素	1回目：7kg、2回目7kg
こしいぶき	5月7日	7月26日	7月3日 (23日前)	7月12日 (14日前)	穂肥520号	1回目：10kg、2回目：10kg
コシヒカリ	5月10日	8月5日	7月15日 (21日前)	7月23日 (13日前)	たんぼのみのり	1回目：8～12kg、2回目：8～12kg

・「たんぼのみのり」など有機質を含む肥料は効果発現に時間がかかりますので「穂肥520号」より3日程度早く施用してください。

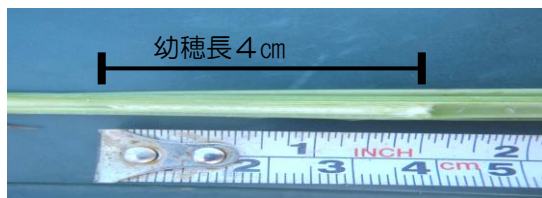
※今後の天候により、出穂期予測等に変更が出る可能性があります。コシヒカリについては、「稲作だより緊急穂肥情報」（7月12日発行予定）をご覧ください。

（1）穂肥時期の目安 → 幼穂を確認して確かめましょう。平均的な生育の株を選び、ほ場ごとに確認をしましょう。

出穂 18日前  
幼穂長 1.0cm

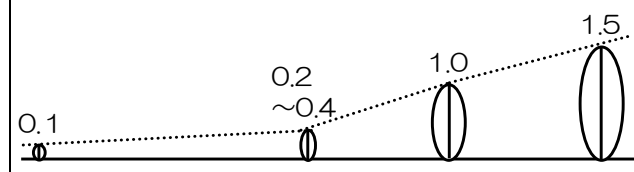


出穂 14日前  
幼穂長 2.0～6.0cm



出穂前日数 -24 -23 -22 -21 -20 -19 -18 -17 -16

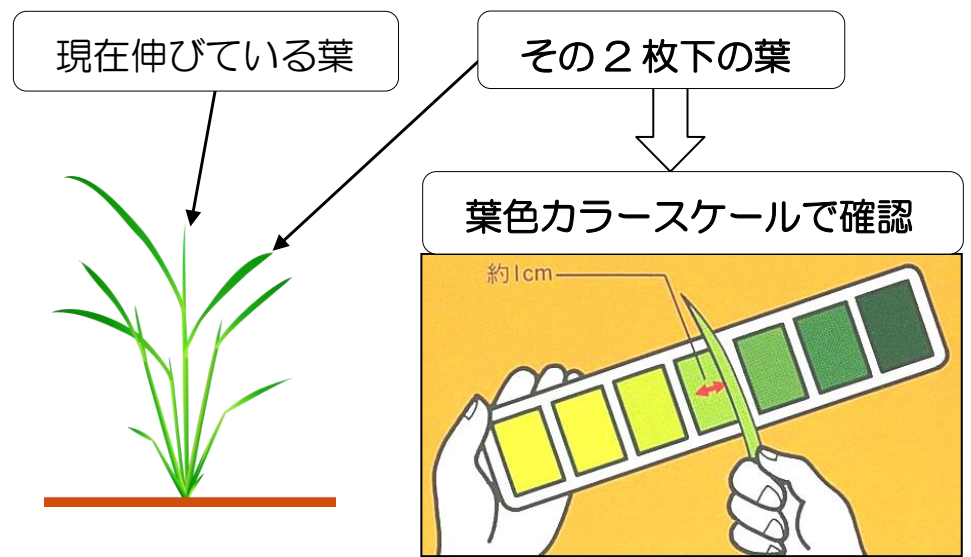
幼穂長  
(cm)



(2) 散布量の判断 (葉色の確認)

◎測定方法

- ・ほ場内の生育の中庸な場所を選び、太陽を背にして、右図を参考に葉色カースケールで測定しましょう。(風のない曇天が測定しやすい)



◎1回目の穂肥の稲姿の目安

品種	草丈 (cm)	葉色 (カースケール)	葉色 (SPAD)
こしいぶき	58	4.5	35
コシヒカリ	71	4.0	32

(注1) 草丈、葉色の数値が上表より大きい場合は、1回目の穂肥量を控えめにしましょう。

(注2) 1回目の穂肥の前に葉色が葉色カースケールで3.5以下に低下した場合は、穂肥施用の時期を早めましょう。

【基肥一発肥料の場合】

- ・必ず1回目穂肥時期に稲姿を確認し、目安以下の葉色にさめた場合は、2回目の穂肥時期に追肥してください。

【県認証特別栽培農産物 (5割減減栽培) の場合】

- ・化学窒素量の上限はこしいぶき：3.5kg、コシヒカリ：3kgです。上限を超えないよう、化学窒素入りの穂肥の散布量に注意しましょう。穂肥量が足りない場合は、葉色が落ちる前に有機100%肥料(味好2号等)を追加してください。

4 病害虫対策

カメムシ対策のポイント

- ・カメムシは雑草の種子を好むため雑草が結実しない間隔で畔の草刈りをし、水稻出穂後も継続して草刈りをしましょう。
- ・薬剤防除の効果が上がるように、防除時には雑草が短い状態にしましょう。
- ・雑草の種子が河川に流入し広がる恐れがあるため、河川付近に雑草を放置せずに処分しましょう。
- ・昨年病気が出た地域・ほ場は特に注意し、防除または発病が確認されたら速やかに防除しましょう。



(いもち病の病斑)

◎薬剤使用例 (H28.6.8現在登録情報)

対象病害虫	薬剤名	成分数	使用量(10a)	散布時の水位	散布適期	使用時期	使用回数
いもち病 紋枯病	イモチエース粒剤 ※注1	1	3kg	3~5cm	出穂20~10日前	収穫35日前まで	1回
いもち病	ブラシン粉剤DL	2	3~4kg	-	出穂期 (使用回数1回の場合)	収穫7日前まで	2回以内
紋枯病	リンバー粒剤	1	3~4kg	3~5cm	出穂30~10日前	収穫30日前まで	2回以内
稲こうじ病	撒粉ボルドー粉剤DL ※注1、2	0	3~4kg	-	出穂20~10日前	出穂10日前まで	-
カメムシ類	スタークル粒剤	1	3kg	3cm程度の浅水	出穂~穂揃い期	収穫7日前まで	3回以内
	スタークル粉剤DL	1	3kg	-	出穂~穂揃い期	収穫7日前まで	3回以内

※注1 来年以降、製品の製造が終了します。残ったものは、最終有効年月を過ぎない限り使用できます。

※注2 使用時期は「出穂10日前まで」です。生育が早まることがあるので、散布適期の範囲内で早めに散布してください。

粒剤の散布にあたっては湛水状態で均一に散布し、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください

~農薬の安全使用を徹底しましょう~

1. 農薬を使用するときは、農薬使用基準に基づき、使用者の責任において使用する。
2. 防除前に、器具の洗浄、清掃が十分であるか確認してから使用する。
3. 農薬の散布にあたっては、飛散しないように風向きなどに細心の注意を払う。
4. 農薬の調整時や散布時には、手袋やマスク、長袖などを着用し、薬剤が直接触れないようにする。

【お問い合わせ先】

- 全地区共通  
JA 柏崎営農指導課 21-2095  
柏崎農業普及指導センター 21-6263
- 南部高田、中央柏崎地区  
JA 南部高田支店 22-5165
- 東部田尻、北部西中通、高柳  
JA 東部田尻支店 35-8188
- 西山、刈羽地区  
JA 刈羽支店 45-2255

中山間地版 No.5

次回発行日：7月12日頃  
緊急版コシヒカリ穂肥対策

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、中越農業共済組合、柏崎農業協同組合、柏崎土地改良区  
柏崎農業普及指導センター (柏崎地域振興局農業振興部)